

西大和つうしん

2010年 11月号

No.341



三ノ峰頂上より白山を望む(10/11)

奈良県勤労者山岳連盟

西大和山の会

西大和つうしん

第341号(2010年11月号)

【目次】

山行計画	-----	1
11月度カレンダー	-----	2
県連山行 北陸の山 県連交流山行	白山(島崎)	----- 3-4
自主山行 北アルプス	涸沢~北穂高岳(勝尾)	----- 5-6
例会山行 北陸の山	越前・三の峰(内田)	----- 7-8
女性部山行 比良山地	八洲の滝~釈迦岳(藤井)	----- 9
室内例会だより	-----	10

【山行計画】

山行	山名	担当
例会山行 1	11月7日(日) (台高山脈) 木梶山 【集合】	田中 (初)
公開山行	11月21日(日) 春日原始林 【集合】 8時30分 近鉄奈良駅行基さん像前	村田
例会山行 2	11月28日(日) (金剛山地) 金剛山 【集合】	林

11月度 西大和山の会 カレンダー

日	曜	山 行	その他行事
1日	月		
2日	火		
3日	水		
4日	木		
5日	金		
6日	土		
7日	日	例会山行1 木樨山 (担当:田中初)	
8日	月		
9日	火		
10日	水		県連理事会
11日	木		
12日	金		
13日	土		
14日	日		
15日	月		
16日	火		
17日	水		会報原稿締切
18日	木		
19日	金		
20日	土		
21日	日	公開山行 春日原始林 (担当:村田)	
22日	月		
23日	火		
24日	水		室内例会
25日	木		
26日	金		
27日	土		
28日	日	例会山行2 金剛山 (担当:林)	
29日	月		
30日	火		

【12月度予定】

8(水)	平日山行 (担当:平田) 宝塚~六甲~有馬温泉	19(日)	例会山行2 (担当:水越) 未定(大峰方面)
12(日)	例会山行1 (担当:村田) 大普賢岳	26(日)	室内例会 & 忘年会

県連交流山行
《白 山》

【日 程】 2010年10月2日～3日

【参加者】 労山:豊田・桜木・中武 山友会:石川・藤原・井上・岡本・松井
夫妻・宮田 奈良HC:西岡・大森・坂田 西大和:島崎・藤井
こぶしの会:市川 実行委員:委員長西岡 桜木
(ルート・記録):大森(渉外・宿泊):島崎(渉外・バス手配)
藤井(会計):石川(会計) 16名

【コースタイム】

(10月2日) 三の丸会館前 6:30～別当出合 11:20-45～中飯場 12:46
～別当覗 1750M12:55～甚の助小屋 13:40-56～分岐
14:16-15:00～南竜山荘 15:25 歩数11231

(10月3日) 南竜山荘 5:00～室堂 6:40-50～白山 2702,2M7:33-56
～室堂 8:20-35～黒ボコ岩杖立峠 8:55～殿ヶ池避難小屋
2050M9:32-50～別当出合分岐 10:38～別当出合
11:43-13:10～展望湯 13:40-14:20～三の丸会館前 19:33

概略

今回、ハイキングリーダー学校のメンバーが実行委員となり、企画・運営・役割分担をして、開催される、以外にも16名と参加者が少なかった。

10月2日晴れ

三の丸会館前6:30出発、巨椋ICより名神、福井北ICで降り、別当出合に予定より1時間強早く到着、3班に分かれて、C班(島崎・市川・坂田・松井・宮田)が最初に出発、砂防新道を登る、道は良く整備されており、石段が続く、別当覗では明日下る観光新道の峰が見える

甚の助小屋が新しく建設中であった、しばらく登って分岐で休憩、天気が良く、最高の気分、40分程休んだが、最後の班がまだ来ないが、出発する、ここからはトラバース状態で楽チンである、小屋が見え、周囲の景色も紅葉しており、素晴らしい景観である。

4時近くなって最後の班がやってきた、皆で記念写真を撮り、持参のビールにて乾杯、一人ずつ、自己紹介をしながら、歓談、5時夕食、ビールが1本@500付く。

6時より2階の部屋で歓談、西岡さんのワンマンシヨの感じがした。

皆に話を振った方が良かったと私なりに反省、8時就寝、一人高敷をしている人がおり、相変わらずなかなか寝つけず。

3日曇り時折小雨

翌朝4時起床で5時ヘッドランプをつけて出発、だんだん明るくなってきたが、雲がかかっている、途中、南竜山荘が眼下に見える処で記念写真を撮る、雨がパラついたりして、あまり良くない状態、トンビ岩を過ぎた処より、平坦な登りで廻りはガスっており、先の見通しがきかない、ハイマツを過ぎて、ガレバを登って先に室堂がぼんやり見えてき出した、休憩して、次の班が来るのを待ったが来ないので、先に登る、だんだんと風が強くなり、又視界は全くだめで、黙々と登るのみ、御前峰に到着、しばし休んでいたからA班がやってきた、班毎の写真を撮ってもらう、本来お池巡りの予定だが、天気が悪い為、室堂まで下る。

少し天気が持ち直した様なので、観光新道を下る、黒ボコ岩より下ってから。天気が回復してきたので、周りの景色が見えてき出した、紅葉しており、なかなか素晴らしい、昨日登った砂防新道・甚の助小屋が見渡せる、殿ヶ池避難小屋がポツンと眼下に見える、小屋より観光新道の稜線が見渡せる、風は強いが雨は降らず、稜線をアップ・ダウンしながら別当出合分岐へ、

これよりはかなり急な下りの連続である、砂防新道よりかなりきつい、下って下って、無事にやっと到着、雨が心配であったが降られず良かった。B班が1時過ぎ到着、展望湯に入り、バスの中でビールと残りのおつまみにて乾杯、帰路竜王から栗東まで渋滞していたが、三の丸会館前に7時半到着予定より1時間半早く到着した。

16名参加で少ないと思ったが、それだけにかえて、交流山行にふさわしい雰囲気でした。
(報告者 島崎 隆)



自主山行

自主山行
北アルプス《涸 沢から北穂高岳》

- 【日 程】 2010年10月7日～9日（前日発）
【参加者】 L辻・石田・勝尾・杉村（他新座山の会3名）
【コースタイム】

《10/7》 沢渡(6:00)=(タクシー)==上高地(6:50)～明神(7:50)～徳沢
(8:50)～横尾(10:05)～本谷橋(11:40/12:05)～涸沢(14:25)

《10/8》 涸沢(7:05)～北穂高山頂(10:25/11:05)～涸沢小屋(13:05)
～(テント撤収)～涸沢ヒュッテ(14:20)～本谷橋(15:35/16:00)
～横尾(17:00)

《10/9》 横尾(6:30)～徳沢(7:40)～明神(8:50)～上高地(9:45)

10/7

前夜泊の沢渡より、早朝、タクシーにて上高地バスターミナルに入る。そこから横尾までは梓川沿いの平坦な林道だ。その間、左手に明神岳の雄姿あり、徳沢を過ぎれば前穂の峰々、横尾に近づけば屏風岩をと、周りの景色を楽しみながら、会話も弾み、皆、重いザックを背負っているにもかかわらず、足取りも軽い。

横尾からは、左手に屏風岩を見ながら横尾谷沿いの道を登る。この辺りの紅葉はまだ少し早い。

30分位登っただろうか。私が背中の中のザックの重みに耐え切れずにバテそうになり、休憩を取ってもらう。少し休んで楽になったが、食糧の重い荷物を分担して持ってもらう事になった。各自それぞれ、目一杯の重い荷物を持たれているのに、それ以上負担を増やしてしまって、申し訳ない気持ちだけれど、また、しんどくなって迷惑を掛けてもと思い、持ってもらう事にする。お陰で、その後は大丈夫でした。

本谷橋で少し早い昼食を取る。これからが登りの本番、そして、紅葉の本番が始まる。青空の下、淡い緑の木々、ダケカンバの黄葉、それにナナカマドのオレンジ、時には真紅の鮮やかな色が映える。山一面の見事な紅葉に一同驚嘆の声。紅葉に心を奪われながら登っていく。

奥穂が現れ、涸沢岳との間の穂高山荘も小さく見える。何回も見慣れた風景だが、いつも新鮮で心洗われる山々。涸沢ヒュッテやテントも見えて来た。その見えてからの遠かった事。やっとの事でヒュッテに到着し、テント場でテント設営。食事の支度に取り掛かるが、初めてのテント泊で慣れない私は、ベテランの方々にすべてお任せしてしまい、夕食の団欒の後、テントでは熟睡してしまいました。

10/8

涸沢での朝。テントから出ると、周り一面の山々、紅葉が目飛び込んでくる。大勢のカメラマン達が、朝日に染まる山々の紅葉を撮ろうと、ヒュッテのテラスや思い思いの岩の上で、カメラを手に待ち構えている。

私達は7時にテントを出発。涸沢小屋の横の道を登る。暫く登って振り返り向くと、今までいたテント場の色とりどりのテントが小さく見え、逆光の前穂、朝日に照らされた奥穂、涸沢岳が近くに聳え、そして涸沢カールの紅葉が下に美しく広がっている。

何回か休憩を取りながら岩場を登る。休憩時、遠く富士山、八ヶ岳南アルプスまでが見えた。長い鎖場を越え、岩場も傾斜が段々きつくなり、山頂近くでは重い足取りで一步一步進む。下山の人がもう「100メートル位ですよ」と励まして言ってくれたが100メートルではなかった。南峰の事を教えてくれたのだろう。

それから北穂高山荘の有る北峰まで随分登った。登りは苦しかったが、山頂の眺望は最高だった。大キレットの向こうに、槍ヶ岳が崇高な姿を現し、北アルプスの薬師、黒部五郎、笠が岳と、思い出深い山々を望めることが出来、感慨深いものがあった。

そして、同じコースを下山。下山途中、血の付いた岩があり、落石による事故との事で、身の引き締まる思いで一層注意して下山する。下山後、天気が今日の夕方から雨との事で、もう1泊涸沢で泊まる予定を急遽、横尾まで下山する事に変更する。

その下山途中、本谷橋のほんの手前で、又、私がバランスを崩して転倒。顔を打ち、打撲で大事には至りませんでした。又、重い荷物をTさんとIさんに持ってもらう羽目になり、昨日に続き今日もまたご迷惑を掛けてしまいました。本当に申し訳ありませんでした。

5時に横尾に到着。テントを張りレトルトカレーの夕食、団欒、そして就寝。夜にはテントを叩く雨の音が始まり、横尾までの下山は好判断でした。

10/9

横尾でテント撤収後、6:30に出発する。

雨の中快調に歩き、9:45上高地着。上高地から車を置いている沢渡まで、タクシーで移動。その後、3日間の汗とアカを温泉で流し、サッパリとして帰路に着いた。

今回は涸沢の紅葉のピーク時に、好天にも恵まれ、最高の紅葉を思う存分楽しむ事が出来、又、期待していた北穂の眺望も素晴らしく、幸運づくめの山行でした。

幸運に感謝。そして、お世話になったメンバーにも感謝、感謝。(E・K)

例会山行
《越前・三の峰》

【山行日】 10月10～11日(11日は曇りのち晴れ)

【参加者】 GL 島崎、SL 多賀、藤井、内田(4名)

【コースタイム】

(10日)法隆寺(10:00)～上小池キャンプ場着(16:00)

(11日)キャンプ場出発(5:40)→→登山口(6:05)→→六本ひのき(7:25)

→→剣ヶ岩(8:27)→→避難小屋(10:15)→→三の峰頂上(10:30)

→→避難小屋(10:45 昼食 11:15)→→剣ヶ岩 12:15→→六本ひのき

(1:03)→→登山口(2:20)→→キャンプ場(2:40)

—10日—

数日前から、刻々と変わる、天気予報にふりまわされつつも、10日朝10時法隆寺駅を出発、途中多少の道迷いもあったが、夕方4時上小池キャンプ場に着く。

小雨が降っていて、テントを張っているのは私たちだけだった。

藤井さんが用意して下さった材料で、すきやきをみんなで食べていると、天然の山から採ってきたなめこだと言って、管理棟のかたがさしいれしてくださいました。私には何十年振りかの天然のきのこ、感無量、夜は満天の星を臨み天の川も見えました。

—11日—

夜中から明け方近くまで小雨がふって、不安いっぱいでしたが、曇り空の中、まだ夜が明けきらない5:40キャンプ場を出発、だんだんと広がる青空に安心してあるきはじめました。

いきなりの急登にはじまり、六本檜までは、樹林帯の中を歩く、六本檜から下を見れば、私たちの張ったテントが小さく見えた。ここからはしばらく行くと、稜線に出る、近郊の山では味わえないまるで雲の上を歩いているようだ。アルプスを経験しない私には、はじめて目にする風景、雲海が下に見える、後ろには荒島岳、はるか向こうに白山の室堂の小屋、別山が見える。

このまま頂上まで無事たどりつけると、信じて疑わなかったのに、あまりの足の疲れに、腰をおろし、あと、少しで避難小屋というときに急に膝の筋肉が痛み出し、歩行が困難になりました。冷却スプレーをしてザック

をリーダーに持ってもらいなんとか避難小屋にたどりついた。

しかし、もう三の峰の頂上はあきらめました。他のメンバーは荷物を置いて頂上に、出発。でもこれだけの景色を見られてもう充分、雲海の向こうには、御岳、槍も見えました。

避難小屋で昼食の後は足の痛みもおさまり、下山開始、同じ道のピストンはおもしろくないと思われがちだが、登って来る時は咲いてなかった、沢山のリンドウが目いっぱい花弁を広げてたし、山の斜面の素晴らしい紅葉も往路は全く気付きませんでした。要するにその目を持ってものを見れば必ず、違ったものが見える、同じ道でも、見えるものは同じではないということに気付かされます。

登山口近くまで来ると、男性二人はテントを畳むため、先に降りられました。午後3時には出発、当初の入浴予定の鳩が湯は営業時間終了で入れず、別のところで入り、食事をすませて帰りました。めったに混まない北陸道が事故のため、帰りが日付が変わるか心配されましたが、なんとか11時には法隆寺に着けました。

この、すばらしい山行もっと沢山のメンバーと共有できたらとちょっと思っていました。（記・内田）



女性部山行
比良 《八洲の滝～釈迦岳》

【山行日】 2010年10月17日(日)晴れ

【参加者】 L勝尾、島崎、藤井

【コースタイム】 ガリバー旅行村(9:30)→大摺鉢(10:28)→オガサカ道分岐
(11:25/11:35)→カラ岳(12:25/13:00)→釈迦岳(13:15)→
イン谷口(15:05)→比良駅(15:55)

JRの秋のワンデイパスを利用して近江高嶋駅まで行き、バスをガリバー青少年旅行村で下りる。厳しかった残暑もようやく終わり、もうすっかり秋の気配。

遊歩道を少し歩き沢に降りる。初心者は行かないようにとの看板があって緊張する。魚止めの滝コースは以前は通行止めになっていたが、今は整備されて、新しい鎖がしっかり付けられていた。魚止めの滝、障子の滝と八洲の滝が続くが、鎖や足がかりを頼りに大岩を登っていくのは、スリル満点で、滝を見る余裕もなく、冷や汗がしたたり落ちてくる。

落差30メートルの貴船の滝の手前で対岸に渡り梯子と鎖で岩をよじ登ると豪快な滝の全容が見えた。ここが八洲の滝の核心部であとは穏やかな気持ちのいい道になる。思いがけずあちこちに可愛い白い大文字草が咲いていた。

沢道をはなれオガサカ道をつきあげると稜線に出た。紅葉しはじめた木々が美しい。爽やかな秋の風が吹きぬけていた。

電波塔のあるカラ岳で昼食にする。通る人も少なく、こんなにいい季節なのに比良はひっそりと静かだった。

木々の間から青い琵琶湖が見え隠れしている。

カラ岳から15分で釈迦岳に着き、大津ワングル道を下る。これがまたものすごい急坂で気がぬけない。琵琶湖がだんだん大きくなり、やっとイン谷口に着いた。

イン谷口から、のんびり田園風景を楽しみながら比良駅まで歩いた。

(藤井 記)

室内例会だより

【日 時】2010年9月29日（水）19：30～20：40 事務所

【出席者】島崎、水越、多賀、三島、田中悦、辻、林、村田、都築、
藤本、勝尾、杉村、内田、高橋、内藤、藤井（16名）

1、山行報告

8月21～22日 例会山行 南アルプス 甲斐駒ヶ岳、仙丈ヶ岳
L辻 4名

8月25日（水）自主山行 大山 L石田 3名

8月29～31日 平日山行 南アルプス 鳳凰三山 L島崎 4名

9月5日（日）県連捜索訓練 三之公 馬ノ鞍峰 44名（西大和4名）

9月12日（日）例会山行 後山 L田中悦 13名

9月19日（日）公開山行 高取山から明日香 L藤本 25名（一般
13名）

9月23日（木祝）堀坂山～観音岳 雨天中止

2、山行案内

10月7～9日 自主山行 北アルプス 涸沢～北穂高岳 L辻

10月10～11日 例会山行 越前 三の峰 L島崎

10月17日（日）女性部山行 比良八淵の滝～釈迦ヶ岳 L勝尾

10月24日（日）例会山行 金糞岳 L三島

3、連絡その他

- ・9月18日 土庫病院ハイキング講座
「山登りと腰痛・膝痛問題」講師 峯隆子さん
西大和より4名参加しました。
- ・10月2～3日 県連交流山行 白山
ハイキングリーダー学校受講者、島崎、藤井が参加します。
- ・教育部より
10月31日（日）新人教育山行 アイゼンワーク
どんづる峰から二上山
- ・県連チャレンジハイクとは。
生涯を持った方と一緒に山に登る。水越氏より資料配布。
- ・後期会費を徴収しました。
- ・会に対する要望があればメールで会長まで送ってください。
- ・10月14日（木）19：30～
運営委員会を事務所で行ないます。

第 341号 (2010年11月号)

西大和つうしん

2010年10月21日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 辻 康司

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会

〒636-0003

奈良県北葛城郡王寺町久度 1-9-32

窪田友男方

TEL・FAX 0745-72-2876

<http://www.nishiyamatoyama.com/>